

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日は守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきちゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.ehimetosyokan.jp/contents/index.htm>
(携帯サイト <http://www.ehimetosyokan.jp/contents/i>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 33 2014. 4



★新刊案内★

- ☆「花のベッドでひるおして」よしもとぼなな 毎日新聞社
- ☆「チェラフ Mission9 クラッシュ」ロバート・マカモア ほるぷ出版
- ☆「紫の結び」一・二・三 萩原規子 理論社
- ☆「5分後に意外な結末」
③白い恐怖/④黒いユーモア/⑤黄色い悲喜劇 学研
- ☆「高校サッカー心を揺さぶる11の物語」安藤隆人 カンゼン
- ☆「向かい風で飛べ！」乾ルカ 中央公論新社
- ☆「小鳥の贈りもの おおぞらに向かって飛び立つあなたに」
ピルック・ヴァイニーオ ア/ニマ・スタジオ
- ☆「十二国記 凶南の翼」・「十二国記 華胥の幽夢」小野不由美 新潮社
- ☆「15歳の詩③ なやむ」ゆまに書房
- ☆「ほくは戦争は大きらい」やなせたかし 小学館
- ☆「話す力」草野仁 小学館
- ☆「雪月花黙示録」恩田陸 角川書店
- ☆「カレンダー」ひこ田中 福音館書店
- ☆「二つ、三ついいわすれたこと」ジョイス・キャロル・オーツ 岩波書店
- ☆「八月の青い蝶」周防柳 集英社
- ☆「ピンザの島」ドリアン助川 ポプラ社
- ☆「フェンスに吹く風」又吉弦貴・吉田啓 音羽出版
- ☆「通り雨は<世界>をまたいで旅をする」・「僕は<眠りの町>から旅に出た」
沢村凜 角川書店



←携帯サイトはこちら。

本の検索や予約ができます。

登録にはパスワードの申請が必要です。



ハル、ハジメヨウ！

～何かが始まる30冊～



『かないくん』

谷川俊太郎/作 松本大洋/絵 東京糸井重里事務所

「ほぼ日刊イトイ新聞」糸井重里の企画による、詩人谷川俊太郎が一夜で綴った文章に、「ピンポン」「鉄コン筋クリート」などが人気の漫画家松本大洋が2年をかけて描いた絵本。
絵本作家のおじいちゃんが子どもの時、隣の席にはかないくんがいた。でも……。60年経って、孫娘はその話を聞く。「何が始まったのかは分からない。でも終わったのではなく、始まったんだと思った。」
味わいのある言葉と、やわらかい鉛筆描きの絵が心に何かを残す、大人の絵本です。



『中学生・高校生のための手帳の使い方』

能率手帳プランナーズ/監修
日本能率協会マネジメントセンター/編
日本能率協会マネジメントセンター

手帳に書くことで、忘れ物がなくなる！勉強時間が増やせる！反省できる！
ベストセラーの手帳を出している会社で作った、中学生・高校生のための手帳の書き方、使い方の本です。自分の問題を解決するために、将来立派なビジネスパーソンになるために。それから前向きな気持ちになるために。新学年から手帳を持ち始めてみませんか？



春。ワクワクドキドキするような何かが始まりそうな予感。
本を読んで何か新しいことを始めてみては！



『熱く生きる』 天野篤/著 セブン&アイ出版

天野篤。心臓血管外科医、順天堂大学医学部教授。テレビドラマ「チーム・バチスタシリーズ」「医龍」などの医療監修を務め、天皇陛下の心臓手術をも行う第一線の外科医。
しかし、本人曰く・・・「落ちこぼれだった高校生が、心臓病で闘病する父親を助けようと医者を目指し、三浪して日大の医学部に入った。やがて心臓外科医になるが、自分も立ち会った3度目の手術で父親を失う。自分にもっと力があればと、一念発起し、ひたすら腕を磨いていき、6000例(2012年当時)を超える心臓手術を行うまでになった—」
あえて厳しい道を選び、世の中のために働くことを極める医師の頭と心の中はこうなっている！



『はてしない物語』

ミハエル・エンデ/作
上田真而子・佐藤真理子/訳 岩波書店

少年バスチアンはあかがね色の絹の本『はてしない物語』を読んでいるうちに、本の中の世界、ファンタジーエンに入り込んでしまう。この本の装丁は物語の中に出てくる本とそっくり。本文は二色で書かれています。あかがね色の部分はバスチアンのいる現実の世界の出来事。緑色はファンタジーエンの出来事です。・・・「本って、閉じているとき、中で何が起きているのだろうか？」



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@ehimetosyokan.jp

(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。